

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
I T スペシャリスト科											
IoT実習 4											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	太田			実務経験	無	職種					
授業概要											
1年次から学んだIoT技術を活かし、自由なテーマで開発を行う。											
到達目標											
IoTサービスの企画・開発において、技術以上にユーザーエクスペリエンスが重要であることを理解するため、サービスを分析・検証する手法を身に着ける。また、理想のユーザーエクスペリエンスを実現するために技術を選択することを体験する。											
授業方法											
はじめに、IoTサービスにおけるユーザーエクスペリエンスを理解するため、既存のIoTサービスを題材に分析・検証する手法を学ぶ。その手法を用いて、身近な課題を解決する独自のIoTサービスを企画・開発し、プロトタイプを制作して発表する。											
成績評価方法											
試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。課題によってはグループでの作業を行うため協調性も評価の対象となりうる。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布資料、IoTプロトタイピングデバイス、クラウドサービス											
回数	授業計画										
第1回	IoTサービスにおけるユーザーエクスペリエンス（UX）										
第2回	IoTのUX分析（1）（ペルソナ、ストーリーボード）										
第3回	IoTのUX分析（2）（カスタマージャーニーマップ）										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
I T スペシャリスト科	
IoT実習 4	
第4回	IoTのUX分析 (3) (相互発表、意見交換)
第5回	IoTサービス企画 (1) (ペルソナ、ストーリーボード)
第6回	IoTサービス企画 (2) (カスタマージャーニーマップ)
第7回	IoTサービス企画 (3) (プロトタイピング)
第8回	IoTサービス企画 (4) (相互発表、意見交換)
第9回	IoTサービス開発 (1) (システム設計)
第10回	IoTサービス開発 (2) (システム設計・構築)
第11回	IoTサービス開発 (3) (システム構築)
第12回	IoTサービス開発 (4) (ユーザビリティテスト、相互レビュー)
第13回	IoTサービス開発 (5) (システム改良)
第14回	プレゼンテーション (1) (発表、相互評価)
第15回	プレゼンテーション (2) (発表、相互評価)